

Rekihaku

ニュースレター



2016.3

特集号
3

群馬県立歴史博物館

表紙写真

スバル360

スバル360は、昭和33(1958)年から販売された軽自動車です。中島飛行機の航空機の技術に応用した軽量構造で、量産型の軽自動車として大人4人乗りを実現し、群馬県で誕生しました。その形状から「てんとう虫」の愛称で親しまれました。



リニューアル後の展示室紹介

近現代



近現代

展示室の前半では、明治維新から戦前までの群馬の歩みを産業史を中心に展示します。官営富岡製糸場や民間の碓氷社の模型などから養蚕・製糸業の発展を示します。また、戦争期の群馬の様子を写真などの資料を交えて紹介します。



展示室の後半では、戦後の復興から高度経済成長を経て、現在の群馬県につながっていく姿を展示します。まず、復興期を精神面で支えた「上毛かるた」と「群馬交響楽団」を取り上げます。次に、経済成長とともに、大きく変容していく群馬の産業や生活の様子を、映像などを通して紹介します。

上毛かるた原画「つる舞う形の群馬県」

近現代

群馬の養蚕技術

見どころ1

気候などの自然条件により上手く育てることが難しかった蚕の育て方を研究し、普及したのが高山社です。明治時代、輸出生糸の需要が増大する中、養蚕を技術面で支えました。明治初年から内部の組合員への指導を行い、後期には学校として多くの生徒を受け入れます。蚕や桑の拡大模型などを作成し、さまざまな角度・方法で養蚕の指導を行い、群馬発の技術を全国に広めました。



蚕体模型

近現代

昭和の成長期を伝える映像

見どころ2

この写真は、昭和32(1957)年に制作された「群馬ニュース」の撮影風景です。「群馬ニュース」は、県の企画で制作された県政映画で、県内の映画館で上映され広報に活用されました。映像には、昭和30年代から40年代にかけての県内の出来事や、当時の生活環境など、さまざまな同時代の様子が記録されています。これらは、展示室に設置したミニシアターで、ご覧いただけます。



群馬ニュース第1号の撮影風景[写真](群馬県立文書館蔵)

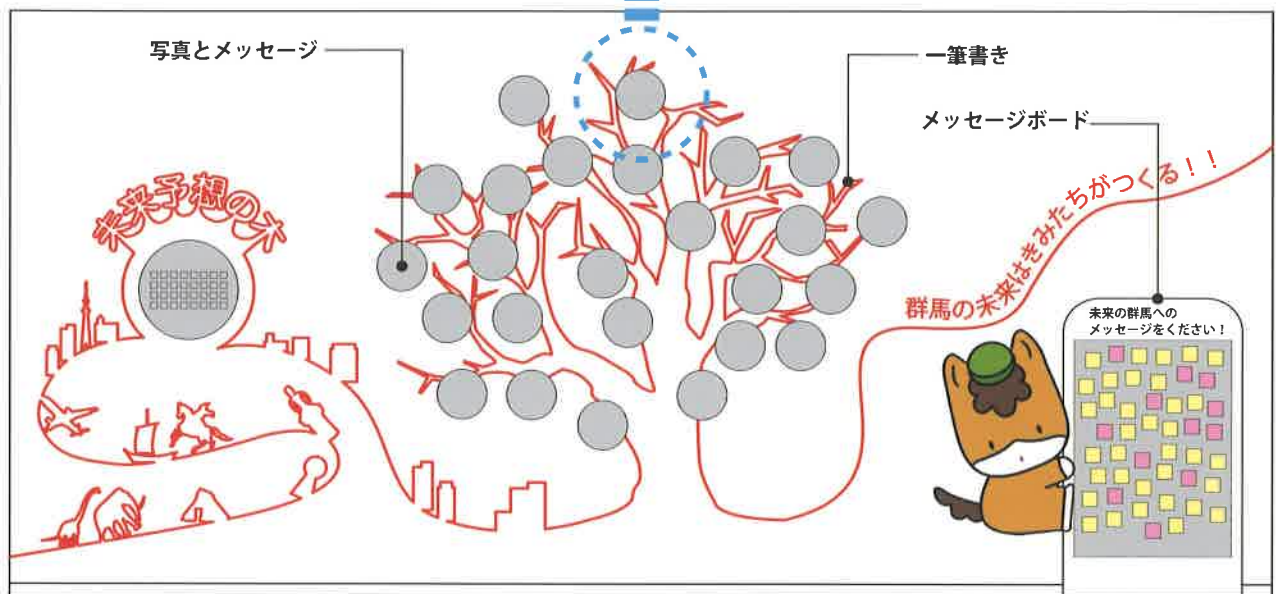
参加型展示コーナー

歴史をひもとく通史展示の最後は、皆さんと一緒に作る参加型展示を展開します。ここでは、未来の群馬や自分自身へのメッセージを募集して写真とともに掲示する予定です。原始に始まり古代、中世、近世、近代を経て、現代の私たちへとつながる群馬の歴史は、さらに未来へと広がっていきます。それを、一筆描きで表現してい

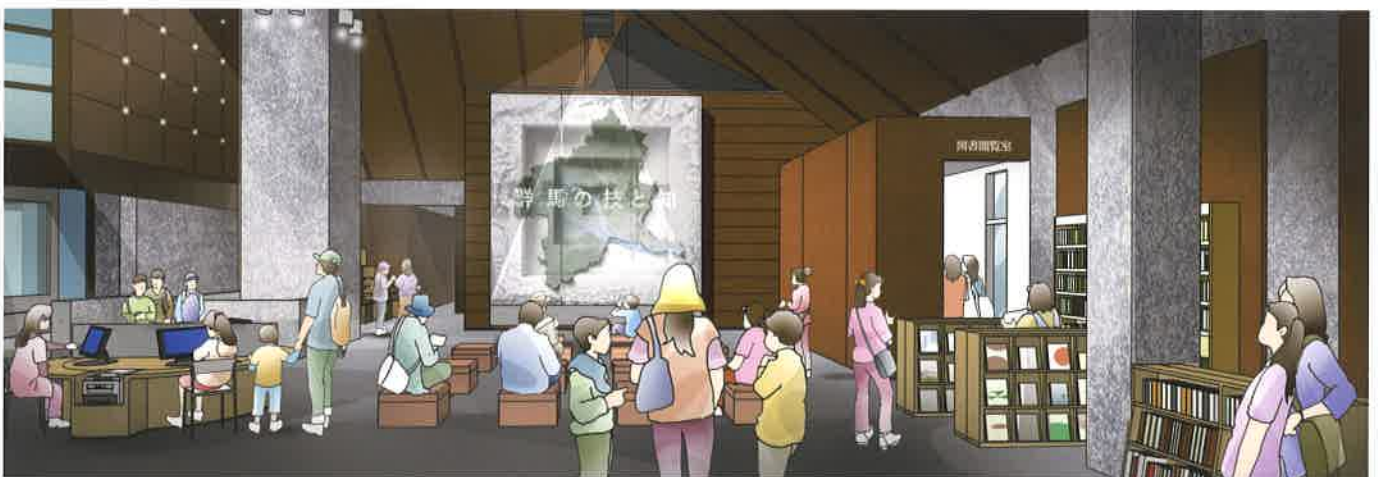


ます。さらに、ぐんまちゃんメッセージボードを使って来館された皆さんの声を聞きたいと思います。

この他、皆さんと展示を結び試みとして、学芸員によるギャラリートーク、ボランティア運営によるハンズオン展示、解説員による解説などを充実させます。生まれ変わる歴史博物館をご期待ください。



学習ホール



博物館の玄関である学習ホールは、情報発信と憩いの場として新たな整備を行います。

まず、群馬県の立体模型を用いてプロジェクションマッピングを投影します。「群馬の原風景」、「群馬の枝と知」、「人と文化の十字路」の3つの番組で群馬の歴史と自然を紹介します。

次に、人と地域をつなぐための歴史・文化の情報を県内外に発信します。パソコンを利用した情報検索システム

を充実させ、博物館収蔵品やオリジナルの歴史めぐりコースの情報を検索することができます。情報はプリントアウトしてお持ち帰りいただけます。また県内市町村や富岡製糸場などの世界遺産、群馬の古墳文化に関する図書を閲覧するコーナーも設けます。

最後は、ミュージアムショップと休憩コーナーの開設です。くつろいだ空間の中で、お買い物をお楽しみください。

歴史デリバリー教室「むかしの道具」

当館の職員を講師として学校に派遣し、歴史学習のサポートをする歴史デリバリー教室。平成26・27年度は、小学校3・4年生向けの学習プログラムとして「むかしの道具」デリバリーを行いました。足踏みミシンや氷冷蔵庫、石うすなど約60点の道具を体育館に展示して、調べ学習と体験学習を行うプログラムです。「たくさんの本物の道具が見られてうれしい」「触れたり体験できたりしたのでよかった」などの感想とともに、子どもたちの生き生きとした姿をたくさん見ることができました。



重いよ～



どうやって削るのかな？



足で踏んだら針が動いた！



ここに氷を入れるんだね

ご 案 内

平成28年度の学校団体利用について

学校団体の児童生徒のみなさんに楽しく歴史を学んでいただけるように、多彩な教育プログラムを用意しています。平成28年度は、改修工事のためもうしばらく休館が続きますが、7月末にリニューアルオープンし、9月から学校団体にも対応していく予定です。新しいプログラムもスタートしますので、ぜひご利用ください。

◆対話型プログラム

【むかしの道具調べ】 ●対象：小3・小4 ●時間：30分

小学校3・4年生の社会科の学習「古くから残るくらしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」に対応しています。



◆体験型プログラム

【昔のくらし体験】 ●対象：小5～中3 ●時間：30分

実際の生活で使用していた火おこし(きりもみ式、火打ち式)の体験ができます。



【東国文化体験】 ●対象：小5～中3 ●時間：30分

勾玉作り等の体験を通して、古代における群馬の地域性を学びます。

【むかしの道具体験】 ●対象：小3・小4 ●時間：30分

「石うす挽き」等、昔の道具を実際に使う体験ができます。



【むかしの玩具作り】 ●対象：幼保年長～小2 ●時間：30分

紙やストローなど身近にある材料を使って、よくあがる小さい凧を作ります。

◆授業型プログラム

【あかりの学習】 ●対象：小3・小4 ●時間：30分

実際の明るさを体感しながら、生活の変化や昔の人の工夫について学びます。